

令和元年度市民活動センター協働運営事業の主な成果

1 相談機能の強化

(1) 令和元年度相談件数

昨年に比べ、相談件数が 35% (93 件) 増となった。特にセンター登録、助成金の相談が増えている。また、フォロー件数が前年比 128% で継続的な相談が増えていて、登録団体の相談数も着実に増えており、相談機能強化の効果が表れている。

相談内容	登録団体	一般団体	市民・登録外団体	合計
ボランティア関連	3(1)	0	26(29)	29(30)
市民活動団体を知りたい	5(6)	1(1)	33(26)	39(33)
センター登録	0(1)	2(1)	86(43)	88(45)
団体設立	2(1)	0	11(8)	13(9)
NPO 法人設立	2(1)	0	5(6)	7(7)
助成金	18(10)	0	1(3)	19(13)
組織運営	8(23)	0	5(7)	13(30)
協働	2(0)	0	0	2(0)
その他	33(16)	3(1)	50(40)	86(57)
フォロー	27(12)	0	34(28)	61(40)
合計	100(71)	6(3)	251(190)	357(264)

※ () 内は H30 年度の相談実績

(2) 専門相談事業

今年度は曜日を指定せず、専門的な相談内容のものを専門相談として丁寧に対応した。相談内容により、提携する専門家や市内団体に相談員として協力を頂いた。

実績： 66 件 (うちフォロー 26 件)

内容： 団体運営、法人設立、助成金、会計税務、情報発信、協働など

2 コーディネート機能の強化

多様な主体の交流の場、また、一般市民や企業などがセンターに集う機会を創出し、団体間連携、多様な主体の連携コーディネートを実施した。

まちづくりミーティングコミュ☆カフェ

全 6 回 計 109 名

4/24 「シニアの地域活動マッチング」参加 25 名

6/12 「センターまつり・アイデア持ち寄り」参加 10 名

8/12 「カードゲームで学ぶ SDG s」参加 36 名

10/30 「どうなっているの？今どきの婚活事情」参加 5 名

12/11 「若者のまちづくり」参加 9 名

2/26 「ボランティアマッチング」参加 24 名

平成 30 年度から実施。登録団体だけでなく、テーマに関心のある市民や関係機関などが多く参加し多様な交流が生まれた。

3 情報発信機能の強化

市民活動センターフェイスブックページの運用開始

リアルタイムのプッシュ型情報発信として、市民活動センターのフェイスブックページを9月に開設。令和2年3月末時点フォロワー216件。

4 ネットワーク機能の強化

- ・専門相談事業について、専門家や市内団体に相談員として協力を頂くことで団体間のネットワーク強化にもつながった。
- ・市内地域活動団体、大学、事業者、県内中間支援組織など団体が持つネットワークを活用した団体への支援を拡充（人・団体・情報のマッチング）した。
- ・災害時のボランティアセンター運営等について、平塚市社会福祉協議会と災害前、事後の連携体制構築に向け協議を開始した。
- ・ボランティア情報誌について社会福祉協議会の協力を得て社会福祉協議会に登録しているボランティア団体の情報を掲載した。

5 地域との連携

- ・崇善公民館との合築により、崇善公民館との施設相互利用が始まった。崇善公民館の居室を利用したセンター登録団体が延べ187団体、市民活動センターを利用した崇善公民館登録団体が9団体と相互利用が進み、利用団体からも好評であった。
- ・11月に開催した市民活動センターまつりは、1階の崇善公民館を含めた全館利用で実施できた。崇善地区から4団体の出展（模擬店2、パフォーマンス2）があったほか、オープニングセレモニーとして、崇善地区自治会連絡協議会、崇善公民館、市民活動団体によるパネルディスカッションを連携開催し、地域との連携が深まった。

6 その他

- ・市民活動団体380団体にアンケート調査を実施。174団体から回答（回答率45.8%）協働運営については、約90%が満足・ほぼ満足の評価を頂いた。